

◎伊勢志摩サミット記念館(サミエール)の近況について

8月末時点で、約 **8万1千人** (※) の方にお越しいただきました！

入館者数

- ・夏休み期間中、特にお盆の時期に多くの(日に1千人を超える)入館をいただきました。
- ・多くの子どもたちにもお越しいただき、サミットクイズ等で楽しんでいただきました。

※入館者カウンター(1通過1カウント)での計測による

9月企画展示

主催：四日市市
 内容：四日市コンビナートの夜景
 期間：平成29年9月1日(金)～29日(金)

- ・パネルや映像で、夜景の魅力を紹介しています。
- ・サミエールへお越しの際は、ぜひご覧ください！



四日市コンビナートの夜景
写真提供：
(公社)三重県観光連盟

◎「宣長サミット」の参加者募集中！

松阪市出身の国学者で、三重を代表する偉人・本居宣長の功績や魅力を通じ、みえの文化を再認識する機会とするため、「宣長サミット」が開催されます。ぜひご参加ください。

※このほか、宣長サミット開催記念講座「三重で本居宣長に会う」や三重県立美術館開館35周年記念Ⅲ「本居宣長展」も開催されます。

日時：10月14日(土)13時15分～15時50分
 場所：三重県総合文化センター 多目的ホール
 (津市一身田上津部田1234)

定員：350名(事前申込制・先着順)
 参加費：無料
 申込期限：10月4日(水)

申込方法等詳細は、下記HPをご参照ください
<http://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0011900041.htm>

主なプログラム

・基調講演

テーマ /

「現代に生きる宣長
—伊勢志摩サミットのレガシーとして—」

講師 /

寺島実郎氏

(一般財団法人
日本総合研究所 会長)



・パネルディスカッション

テーマ / 「今、なぜ、宣長か」

コーディネーター /

池田雅延氏(元新潮社編集者)

パネリスト /

田中康二氏(神戸大学大学院 教授)

ピーター・J・マクミラン氏(翻訳家)

森 瑞枝氏(國學院大學他 兼任講師)

吉田悦之氏(本居宣長記念館 館長)

※ 今年3月にリニューアルオープンした「本居宣長記念館」へも、ぜひお越しください。 <http://www.norinagakinenkan.com/index.html>

◎「第69回日米学生会議in三重」が開催されました！

期間：8月17日(木)～21日(月)
 訪問先：伊勢市、鳥羽市、多気町、津市、
 四日市市、桑名市

参加学生は、様々な体験をしながら、伊勢神宮や海女文化など昔から受け継がれてきた日本人の精神性を学ぶとともに、その精神性が現在の食文化やものづくり産業などでどのように生かされているのかを議論しました。

日米の参加学生の皆さんには、三重の魅力をも十分に感じていただきました。

日米学生会議とは…

1934年に創設された日本初の国際的な学生交流プログラム。

日米の学生が約3週間にわたって共同生活しながら、各地での体験や議論を通じて相互理解を深めることを目的としています。



←相差漁港での
集合写真

海女さん、ガイドさん
と一緒に

県立相可高校での→
調理実習

食物調理科の生徒
たちが指導



←三重大学での
議論

ものづくりパネルディ
スカッションの様子

三重フォーラム→
でのパネル
ディスカッション
コーディネーター：
鈴木知事

